



平成23年は、東日本大震災をはじめ、日本各地で起こった水害や土砂崩れ、アメリカのミシシッピ川やタイの大洪水、オーストラリアやトルコの地震など、自然災害の怖さを思い知らされた1年でした。今回の企画展は「自然災害を防ぐ植物の力」がテーマでした。

山を守る森林の力のコーナーでは、足尾銅山の近くで行われている砂防事業の一つ「大畑沢緑の砂防ゾーン」を模型と共に紹介しました。森林が持つ、環境や人間の暮らしに役立つ働きを紹介し、山地災害を防ぐのになぜ森林をよみがえらせる必要があるのかを学びました。

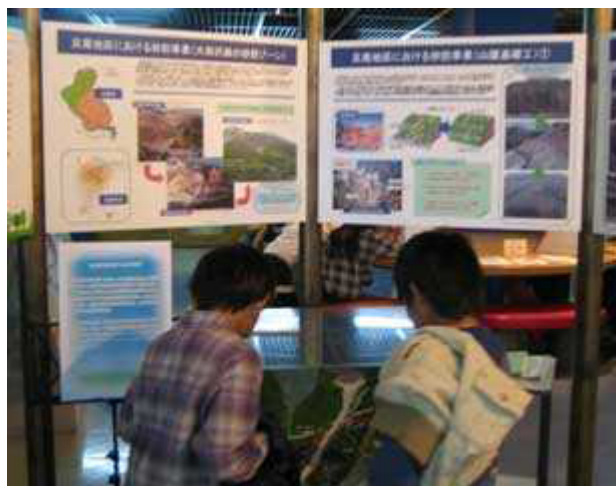
堤防をまもる芝の力のコーナーで、芝生は堤防を雨や洪水の流れから守る役割があることを学びました。また、反対に堤防を傷つける植物や、堤防に穴を掘る困った動物がいることも紹介しました。

床に張った渡良瀬川の地図を熱心に見られる方も大勢おられました。

私たちの身近なところで、さまざまな植物が環境を守る働きをしています。今回の企画展は、来館された方々にとって、身近な環境に目を向ける新たな機会となったことと思います。

○企画展「環境」開催期間中の入館者数は、1,769人でした。





今回の展示も多くの子供たちの学習に役立ったようです。これからも「せせら」をご利用ください。

国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所

〒326-0822 栃木県足利市田中町661-3

Copyright (C) 2007 Watarase River Office, All Rights Reserved.